

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

平成30年4月9日

木曾地域振興局

提出区分	実績						
整理番号	11	課題区分	C				
実施機関	木曾保健福祉事務所		担当課	所属	木曾保健福祉事務所(総務課)		
事業名	災害時医療救護訓練等			電話	0264-25-2231		
				E-mail	kisoho-somu@pref.nagano.lg.jp		
事業概要等	目的 (目指す姿)	災害時の迅速確実な医療の提供					
	現状と課題	毎年1回住民参加型の訓練を実施しているが、住民へのPRに主眼を置いているため、スタッフの技量向上や、関係機関の連携強化につながっていない。 また新型インフルエンザ等感染症に備えた対応ができていない。					
	内容 (変更後の内容)	災害時を想定し、エマルゴトレーニングシステムを用いインストラクターを招き、より実戦的机上訓練を行うとともに新型感染症発生時の対応に必要な備品等の購入する。					
	事業期間	平成30年2月8日		～	平成30年3月31日		
	成果目標	災害時医療の提供主体となる医療スタッフの技量向上及びその関係機関の連携強化。					
事業費等	事業費	871,918 円				(単位:円)	
	節区分	主な内容	当初計画額 a	最終計画額 b	実績額 c	差引 b-c	備考
	8	講師報償費	150,000	150,000	115,000	35,000	9人分
	9	講師費用弁償	70,000	70,000	66,040	3,960	3人分
	11	消耗品費	958,000	958,000	690,878	267,122	
						0	
						0	
						0	
計		1,178,000	1,178,000	871,918	306,082		
事業実績・成果	事業実績		事業の成果			評価	
	・H30.2.18 災害時医療救護訓練(机上訓練)実施 参加者:40名 ・新型インフルエンザ等発生時に来庁者の入場制限を行う際のテント・手指消毒器具・非接触型体温計等を購入		・机上訓練を通じ、災害発生時の関係機関の初動及び情報伝達体制の再確認を行うことで、スタッフの意識や技量の向上につながった一方、マニュアル内容等の課題が浮き彫りになった。 ・新型インフルエンザ等発生時の来庁者入場制限を確実にを行う体制が整った。			<input type="radio"/> 期待以上 <input checked="" type="radio"/> 期待どおり <input type="radio"/> やや下回る <input type="radio"/> 期待以下	
今後の方向性	・机上訓練について、特に行政機関では、人事異動等で担当者が替わる可能性があるため、ある程度の期間内での再訓練は必要と考える。また、今回浮き彫りになったマニュアル内容の課題については、必要に応じて関係機関と協議の上改訂を実施したい。						